【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成19年2月8日(2007.2.8)

【公開番号】特開2005-197892(P2005-197892A)
【公開日】平成17年7月21日(2005.7.21)
【年通号数】公開・登録公報2005-028
【出願番号】特願2004-663(P2004-663)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　1/19　(2006.01)
Ｇ０６Ｔ　1/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　1/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　1/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　1/04　１０３Ｅ
Ｇ０６Ｔ　1/00　４３０Ｊ
Ｇ０６Ｔ　1/00　４６０Ｄ
Ｈ０４Ｎ　1/00　１０８Ｈ
Ｈ０４Ｎ　1/12　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成18年12月15日(2006.12.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
シートスルーＡＤＦを用いて、または、原稿台に原稿を乗せて原稿を読み取る画像読み取り装置において、
基準白板と回転可能な白色ローラを有し、シートスルーＡＤＦを用いて画像を読取る場合は、原稿が前記画像読み取り部にないときに前記白色ローラにてシェーディングを行うことを特徴とする画像読み取り装置。
【請求項２】
シートスルーＡＤＦを用いて連続画像読み取りを行う場合に、光学式原稿検知センサで原稿の先端、後端を検出してシェーディングの開始、終了のタイミングを決めることを特徴とする請求項１記載の画像読み取り装置。
【請求項３】
レジストセンサで原稿の先端、後端を検出し、シェーディング開始時間と終了時間を原稿搬送速度から計算してタイマにセットしてシェーディングの開始、終了のタイミングを生成することを特徴とする請求項１記載の画像読み取り装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
上記の課題を解決するために、請求項１に記載の発明は、シートスルーＡＤＦを用いて、または、原稿台に原稿を乗せて原稿を読み取る画像読み取り装置において、基準白板と

回転可能な白色ローラを有し、シートスルーＡＤＦを用いて画像を読取る場合は、原稿が前記画像読み取り部にないときに前記白色ローラにてシェーディングを行う画像読み取り装置を特徴とする。

また、請求項２に記載の発明は、シートスルーＡＤＦを用いて連続画像読み取りを行う場合に、光学式原稿検知センサで原稿の先端、後端を検出してシェーディングの開始、終了のタイミングを決める請求項１記載の画像読み取り装置を特徴とする。

また、請求項３に記載の発明は、レジストセンサで原稿の先端、後端を検出し、シェーディング開始時間と終了時間を原稿搬送速度から計算してタイマにセットしてシェーディングの開始、終了のタイミングを生成する請求項１記載の画像読み取り装置を特徴とする。